

デジタルものづくりを革新し続ける



2024年12月期 第1四半期決算説明資料

SOLIZE株式会社

証券コード：5871 東証スタンダード

2024.05.15

デジタルものづくりを革新し続ける

SOLIZE



1. 2024年12月期 第1四半期決算ハイライト
2. 2024年12月期 連結業績予想
3. 株主還元

01

Consolidated Financial Highlights

2024年12月期 第1四半期決算ハイライト

はじめに

当社は、2024年2月に上場しており、上場前の前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

決算ハイライト

2024年12月期 第1四半期決算	デザイン事業セグメント、マニュファクチュアリング事業セグメントともに堅調に推移し、売上高5,444百万円、売上総利益1,616百万円、営業利益291百万円
デザイン事業	<ul style="list-style-type: none">・エンジニアリングサービス、コンサルティングサービスともに順調・セグメント売上高4,411百万円、セグメント利益188百万円
マニュファクチュアリング事業	<ul style="list-style-type: none">・試作用部品供給サービスが順調、構造改革も推進中・セグメント売上高1,032百万円、セグメント利益103百万円
連結業績予想	<ul style="list-style-type: none">・2024年12月期 第2四半期（累計）連結業績予想を上方修正・通期連結業績予想は変更なし

四半期業績の傾向

第2四半期は毎年約100名の新入社員の入社および研修期間に伴い、稼働率の低下と経費の増加等の影響で売上高、利益ともに一時的に悪化するため、売上高・営業利益ともに下期偏重の傾向があります。

2023年12月期での割合：売上高（上期47%、下期53%） 営業利益（上期20%、下期80%）

主要な四半期ごとの傾向

	売上高増減要因	営業利益増減要因
第1四半期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年第4四半期から継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験者採用の積極化による費用増
第2四半期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入社員研修の講師として、一部のエンジニアを非稼働化 ・ 多くのお客さまとの単価改定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入社員の研修（3～4ヶ月）の期間の人件費、研修関連費用増 ・ 経験者採用の積極化による費用増
第3四半期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入社員は第3四半期中に稼働 	-
第4四半期	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンジニアの稼働率が最大化 ・ 主要顧客が下半期となり予算消化に伴う受注量の増加 	-

連結損益計算書

売上高 : 5,444百万円
 営業利益 : 291百万円

(単位：百万円)

	2024年12月期 第1四半期
売上高	5,444
原価	3,828
売上総利益	1,616
売上総利益率	29.7%
販売費及び一般管理費	1,324
営業利益	291
営業利益率	5.4%
経常利益	272
四半期純利益	199

おもな要因

■売上高

- ・前年度からの高い需要が継続し、各サービスともに順調に推移
- ・第1四半期としては過去最高の売上高

■原価

- ・エンジニアの経験者採用（研修期間は1ヶ月程度を想定）が一部遅れ、想定より原価がかからず、結果として高い売上総利益率となった

■販売費及び一般管理費

- ・エンジニアの採用遅れに伴う採用費用等が第2四半期以降へずれ込み

(単位：百万円)

	デザイン事業	マニファクチャリング事業	計
売上高	4,411	1,032	5,444
セグメント利益	188	103	291

連結貸借対照表

当第1四半期資産合計：14,563百万円（前連結会計年度末対比+1,517百万円）

(単位：百万円)

	2023年12月期	2024年12月期 第1四半期	増減額
流動資産	10,928	12,417	1,489
固定資産	2,117	2,145	28
資産合計	13,045	14,563	1,517

流動負債	3,161	3,055	△106
固定負債	214	210	△3
負債合計	3,376	3,265	△110
純資産合計	9,669	11,297	1,627
負債純資産合計	13,045	14,563	1,517

おもな増減要因

- 流動資産
 - ・上場に伴う調達の結果、現金及び預金が増加（1,432百万円）
- 流動負債
 - ・2月の賞与支給による賞与引当金の減少（△556百万円）
- 純資産
 - ・上場に伴う自己株式の処分等により、株主資本が増加（1,585百万円）

02

Financial Position

2024年12月期 連結業績予想

2024年12月期 第2四半期（累計）連結業績予想の修正

第1四半期決算の内容を踏まえ、第2四半期（累計）の連結業績予想を上方修正します。
通期連結業績予想の変更はありません。

第2四半期（累計）

（単位：百万円）

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高	10,560	10,672	111	1.1
営業利益	△175	△28	147	-
経常利益	△175	△42	133	-
四半期純利益	△115	△64	51	-

修正の理由

当第1四半期連結累計期間においては収益が拡大した一方、エンジニア等の人員の採用が遅れることとなりました。

これは採用コストや一時的な人件費の抑制につながり、当第1四半期累計期間の損益を改善させる要因のひとつとなりましたが、一方で、第3四半期以降におけるエンジニアの増員による収益拡大の計画に遅れを来し、当下期の業績は当初の計画を下回る可能性があるため、最終的に通期の業績見通しについては変更を行わないことといたしました。

通期

（単位：百万円）

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高	22,876	変更なし	-	-
営業利益	977	変更なし	-	-
経常利益	978	変更なし	-	-
当期純利益	667	変更なし	-	-

03



Return to stockholders

株主還元

配当

基本方針

当社は株主の皆さまに対する利益還元を最重要課題の一つと位置づけており、将来の事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定的に配当を行う方針です。

配当の考え方

株主資本配当率(DOE : Dividend on equity ratio)を採用しており、前事業年度末の連結純資産の2.5%を目安としています。

配当予想

2024年12月期の年間配当（47円）の変更はありません。

(単位：円)

	中間	期末	合計
2024年12月期（予想）	0	47	47

免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

